

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・お歳暮の早期出荷状況は前年を上回っており、最終の着地点に不安があるが、手ごたえは前年を上回る。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・この地域の観光客は大きく増え続けており、この流れは今後も続く。
		百貨店（営業企画・販売促進）	・まだ気温が下がりがきっていないにもかかわらず、来客数は前年を上回っている。今後シーズンが深まるにつれて、より良くなると見込まれる。
		スーパー（店員）	・野菜、果物など全般的に、天候不順の影響からか価格はやや高めである。これから年末に向けて、果物の主力はみかんとなるが、現時点では前年よりも価格がやや高い。前年から外食よりも家で少しぜいたくをするという傾向があるため、小売店ではやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の回復と店内企画に対する客の反応から、最悪期からは脱している。今後はやや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・年末から年始めにかけて人気車種のフルモデルチェンジがあり、今後はやや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・客は必要最小限の物しか購入しないため、販売量、売上の増加にはなかなか結び付いていない。この傾向は今後も続く。
		商店街（代表者）	・今月はやや良くなってきているが、このまま右肩上がりになるかは疑問である。客単価は上昇していないが、購買数は増えてきているため、販売量の微増は見込める。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・客との会話の中にも、閉塞感を感じ取る。食品関係では、低価格品へのシフトや余分な物の買い控えの傾向は、今後は一層強まる。
		百貨店（売場主任）	・客の価格に対するシビアな姿勢は、今後もまだ続く。
		百貨店（売場主任）	・バーゲンでの売上は好調であるが、定価品が動くのは難しい。今はクリアランス待ちの客が多いが、クリアランスが始まって前年並みが精一杯であり、まだまだ厳しい。
		百貨店（経理担当）	・外商部門は健闘しているが、店頭売上はまだ不調である。この傾向は今後も続く。
		百貨店（店長）	・現状は気候に影響されているため、今後も改善はあまり見込めない。
		百貨店（販売担当）	・1月は初商による売上が見込まれるものの、最近の客の財布のひもは固く、2月以降の売上はかなり厳しくなる。セールスの延長やイベント等の企画も行われるが、楽観視できない。
		百貨店（販売担当）	・消費者は長引く不況にも慣れており、よほど大きな情勢の変化がない限り、今後も消費者マインドは変化しそうにない。
		百貨店（販売担当）	・先行きは非常に不透明である。生活必需品やプレゼント、特別品は継続的に購買されるが、ファッションに関しては定番商品や長く使える丈夫な商品への志向性が強まる可能性がある。トレンドの変化や新商品に対する反応は、ますますシビアになっていく。
		スーパー（経営者）	・年末に向けて活気が良くなると予想される反面、大手同士の激しい競争の間で、中小小売店の売上は現状とあまり変わらない。
		スーパー（経営者）	・家計所得が増えないため、支出も増えない。節約志向は、まだ続く。
		スーパー（店長）	・単価下落の傾向が改善する兆しは、今のところあまりない。ただし、大きく悪化する兆しもない。
		スーパー（店長）	・何かの記念日にはビールを飲むが普段は第3のビールというように、日頃は低価格品で満足する状態が定着しつつある。そのため、今後も単価は回復しない。
スーパー（販売促進担当）	・お歳暮シーズンが始まったが、固定客でも商品単価の低下や購入件数の減少傾向がみられる。百貨店から他へと切替えた客も見受けられる。今後も厳しい状態が続く。		
コンビニ（エリア担当）	・お歳暮、クリスマスケーキなどの予約商材は、前年と比べて非常に悪く、客は買い控えている。ただし、今が底であり、厳しい状態がしばらく続く。		
コンビニ（エリア担当）	・たばこ増税の影響は徐々に弱まり、売上は引き続き少しずつ良くなる。		

コンビニ（店長）	・街の人通りや単価の動きは、今後も以前とほぼ変わりなく推移する。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数は回復傾向にあるが、今後改善する兆しはない。
衣料品専門店（経営者）	・先行き不安のため客の財布のひもが固い状態は、今後も続く。
乗用車販売店（従業員）	・今後も、悪い状態で変わらない。ただし、家電のエコポイント制度も終了すると、景気はもっと悪くなる。
乗用車販売店（従業員）	・今年は例年のようなボーナス需要が全く見られないため、最近発売された新型車両に期待を寄せている。しかし、店頭への来客数はあまり良くない。今後は年度末に向けて、他社でも新型車を発表してくる。それによって客が少しでも車に関心を持ち、市場に活気が生まれることを見込んでいる。
乗用車販売店（従業員）	・販売台数の回復に向けて、次々とてこ入れを始めている。しかし、エコカー補助金によって今後の販売台数を先食いした感があり、大幅な回復や目標達成は見込めそうにない。今後もアフターサービス商品に重点を置き、取り組んでいく。
住関連専門店（営業担当）	・各企業の設備投資に加えて住宅関係もほとんど横ばいであるなか、リフォーム工事だけがプラスになっている。ただし、新築住宅は、低価格でも付加価値は上昇してきており、建築業界もデフレが非常に厳しくなっている。この状況は今後も続く。
高級レストラン（スタッフ）	・最近では、家族客に支えられている。法人やサラリーマンの動きは相変わらず低調である。今後もこの状況は続く。
観光型ホテル（販売担当）	・忘年会など、最低限の予約は確保している。しかし、今後新たな動きが出てこない限り、心配も出てくる。年明け以降の個人の宿泊状況は、前年同期比で良くない状況にある。
都市型ホテル（従業員）	・予約状況は、今後も変わらない。
都市型ホテル（支配人）	・企業の決算状況が改善しているため、出張は増加する可能性がある。
旅行代理店（経営者）	・北朝鮮や尖閣諸島の問題の影響で、中国、韓国の旅行は減少する。中国からの旅行客も減少する。ただしその一方で、円高も手伝って、他のアジア地域への旅行は、以前の旅行者数へと回復する。
タクシー運転手	・悪いなりに横ばいの状態が長く続いている。今後も同じ状態が続く。
タクシー運転手	・夜の街では、タクシーを利用しないことに慣れてしまっている。この傾向は今後も続く。
通信会社（サービス担当）	・映像サービスの提供エリアの拡大で、申込件数は引き続き増加する。
テーマパーク（経営企画担当）	・今年の冬は寒くなるとの長期予報のため、前年並みかやや悪くなる可能性がある。
ゴルフ場（企画担当）	・11月まで暖かい日が続いていたが、それでも良い結果は出ていない。これから一層寒くなるが、予約数を見る限りでは、雪でも積もらない限り、極端に悪くはならない。
その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・消費者マインドが好転する要素は見当たらない。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・家電エコポイント制度の特需により、対象商品の売行きは良い。しかし、終了後の落ち込みが懸念される。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・客はお歳暮を早期割引で安く買っているため、景気は良くない。また、これはエコポイント制度と同様に将来需要の先食いであるため、今後はやや悪くなる。
一般小売店〔食品〕（経営者）	・国外では近隣諸国との関係が難しくなっており、国内でも冬のボーナスの増加は見込めないため、年末商戦の見通しは暗い。前年実績にどれだけ近付けるかが問題である。全体的に客単価が低いため、景気回復はまだ先である。
百貨店（営業企画担当）	・前年12月以降は景気回復基調が顕著であったが、今年はその逆であり、来客数や単価の動きは鈍化する。
百貨店（経営企画担当）	・年末年始までの消費は良いかもしれないが、先行き不透明感から、2、3か月後にはこの反動が表れる。
スーパー（販売担当）	・消費者は年末年始にお金を使うため、その後は引き締める。
家電量販店（店員）	・家電エコポイント制度の終了後に反動が出て、売上の減少は避けられない。
乗用車販売店（従業員）	・例年ならば、1、2月は増販期である。しかし今の状況を見ると、今後は新車効果さえも期待できない。

		<p>一般レストラン（経営者）</p> <p>都市型ホテル（経営者）</p> <p>旅行代理店（従業員）</p> <p>旅行代理店（従業員）</p> <p>通信会社（企画担当）</p> <p>テーマパーク（職員）</p> <p>パチンコ店（経営者）</p> <p>理美容室（経営者）</p> <p>設計事務所（経営者）</p> <p>住宅販売会社（企画担当）</p> <p>その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）</p>	<p>・世界情勢の不安定化もあり、買い控えは今後も続く。外食もせいたくということで、どんどん減っていく。</p> <p>・円高、株安に伴う国内製造業の空洞化が、ビジネスの宿泊客数の減少につながっている。回復傾向は見られない。</p> <p>・ボーナスは家計の赤字の補てんに使われるため、旅行やレジャーにはなかなか向かわない。</p> <p>・尖閣諸島や北朝鮮の問題により、冬場のドル箱であるアジア旅行があまり期待できない。前年は新型インフルエンザの流行が一段落し、特に韓国ソウルへの激安ツアーで飛行機、ホテルは連日満席、満室であったが、今後は不安が大きい。</p> <p>・更なる競争激化、家電エコポイント制度の縮小などから、今後は一段と厳しくなる。</p> <p>・これまで消費は家電、自動車等の高額商品に向かったため、レジャーなどはしばらく控えらる。</p> <p>・商圏内の客層が高齢化してきているため、今後は徐々に影響が出てくる。</p> <p>・客の話では、仕事は出始めているが、給料に反映されていない。そのため、今後も良くならない。</p> <p>・住宅案件は、ここしばらく全くない。計画案件もない。その他の仕事で頑張らないと、事務所の存続も危ぶまれる。</p> <p>・住宅購入を相談する客の話では、賞与が減るとか出ないかもしれないなどといった先行き不安のため、大きな買物の決断はなかなかできない様子である。当分このような状況が続く。</p> <p>・客からの問い合わせ件数が減っている。</p>
	悪くなる	<p>一般小売店〔電気屋〕（経営者）</p> <p>スーパー（経営者）</p> <p>スーパー（店長）</p> <p>コンビニ（店長）</p> <p>コンビニ（店長）</p> <p>衣料品専門店（経営者）</p> <p>乗用車販売店（営業担当）</p> <p>その他専門店〔貴金属〕（店長）</p> <p>スナック（経営者）</p> <p>旅行代理店（経営者）</p> <p>通信会社（営業担当）</p> <p>住宅販売会社（経営者）</p>	<p>・需要の先食いがかなりある。そのため、今後はかなり悪くなる。</p> <p>・客や地元企業の経営者との会話では、全く先が見えないとの話ばかりが聞かれ、今後に対して非常な危機感がある。特に地元のオートバイ関係の製造業は大変になる。</p> <p>・3か月後には、1キロ以内に競合店が新たにオープンする。オープン前になると、近隣客では買い控えが発生する。</p> <p>・たばこの売上が激減しているが、今後も増税前にまでは戻らない。</p> <p>・酒のつまみも、100円以下の商品しか売れなくなっている。今後も厳しい状態が続く。</p> <p>・明るい話題がない。近隣には職人が多いが、仕事待ちで休みという日が時々あると聞いている。今後も厳しい状態が続く。</p> <p>・自動車業界では、商品購入に目立った動きはなく、今後の流れは悪くなる。今のところ、良くなる要素は見受けられない。</p> <p>・相変わらず景気は悪く、低価格志向は一段と強まっている。今後も販売量、売上共に落ち込む見込みである。</p> <p>・2、3か月先は例年落ち着いた時期であるものの、客からは賃金カットやリストラの話題がまだ聞かれるため、飲食店などでは一層厳しい状態となる。</p> <p>・エコポイント制度は、旅行業界にとってはあまり恩恵がなかった。消費者はエコポイント目当てで家電や自動車にお金を消費したため、旅行支出は当分控える傾向にある。</p> <p>・家電エコポイント制度の終了に伴い、今後の景気は悪くなる。</p> <p>・先行き不安や所得の減少などにより、客は買い控えている。この状況は今後も続く。</p>
企業動向関連	良くなる やや良くなる	<p>輸送業（エリア担当）</p> <p>一般機械器具製造業（営業担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（品質管理担当）</p> <p>輸送業（エリア担当）</p>	<p>・年末年始、中国の旧正月に向けて、物流量は増加する。</p> <p>・北米の客の多くは1月から会計年度が変わるため、今年引き合いがあっても予算の都合で延期されていた案件が、発注される可能性が高い。</p> <p>・取引先企業では設備投資が増えてきており、今後は良くなる。</p> <p>・現在、荷物量は発着共に異常なほど伸びている。前年に同業他社が大失敗をしたため、百貨店関係の荷物が相当流れている。この傾向は今後も続く。ただし、荷物が大きくなり、単価の下落も続いているため、利益と輸送コストのバランスは悪くなっている。そのため、扱い個数は伸びても利益はあまり伸びない。</p>

	金融業（従業員）	・周囲の自動車関連企業では、以前と比べて仕事量が少しずつ増えてきており、景気は多少上向いてきている。この傾向は今後も続く。
変わらない	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・新規需要がなく既存の需要のみであるため、あまり良くない状況が今後も続く。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・取引先企業では、好調な店とそうでない店との差が拡大してきており、広告出稿量全体では減少している。この傾向は今後も続く。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・大幅な受注増につながりそうな商品がない。効率は良くないが、多品種をこなしていくという状況が続くそうである。仕事量が多く、在庫を作る余裕もない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・やや円安傾向にあるが、期初と比べれば好転しているとは言えない。そのため、今後も現状並みで推移する。
	輸送業（経営者）	・製造業では、既に生産量の調整を行っている様子である。流通業では、これ以上の価格低下はないものの、消費の急増もない。
	輸送業（エリア担当）	・例年ならば荷物量が増える時期にトラックの通行量や荷物量が増えていないため、先行きは横ばいまたは悪化する可能性もある。
	輸送業（エリア担当）	・荷動きは、一部を除いて非常に悪い状況にある。ただし、道路の公共工事に伴い、トラック、トレーラーで運搬するセメント類の輸送が少し回復している。
	金融業（企画担当）	・企業利益が回復していないため、従業員の給料、ボーナス等も増えず、個人消費も増えない。当面は現在のような景気が続く。
	広告代理店（制作担当）	・来年になっても、数量や価格は抑えられる。今後も我慢が続く。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・流通、サービス業の折込広告量は前年を上回っているが、不動産広告の落ち込みが著しい。この傾向は今後も続く。
やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・販売先である中間流通業者では、低単価商品が売れているとのことである。中期的には原料である砂糖、小麦粉などの値上げがあるが、販売価格への転嫁が難しい状況にあるため、業績は厳しくなる。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・家電エコポイント制度の縮小や円高の影響などによって、受注量、販売量は減少する見込みである。
	金属製品製造業（従業員）	・業界は過当競争気味であり、価格の安定は今後も見えてこない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の売上に減少傾向が見られるため、今後全体の受注量は減少する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・当社は海外向けの製品が多いが、現在生産している製品が最終である。円高のなか、今後の仕事を確保ができるか不安である。ロット毎の価格競争で、他社の見積額を提示されたりと、単価については非常に厳しい状況が続いているため、今後は若干落ち込む。
	電気機械器具製造業（経営者）	・自動車、電機向けは、政策効果が減少する。その一方で、情報関連向け、中国など海外向け、工作機械などは良くなる。全体的には、若干落ち込む見通しである。
	金融業（法人営業担当）	・エコカー補助金の終了と家電エコポイント制度の縮小により、個人消費は盛り上がり欠ける。企業でも、売上の減少から、コスト削減に注力するようになる。年越しの資金繰りの悪化から、零細企業の倒産増加が懸念される。
	会計事務所（職員）	・地元の繊維関係業者の話では、これまで中国に縫製を依頼して日本に輸入してきたが、最近は中国でも工賃単価が安くロット数が少ない仕事は引き受けてもらえないとのことである。中国でも、製造業は繊維関係から自動車関連へとシフトしている。日本の中小企業は、今後一段と厳しくなる。
悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・エコカー補助金の終了と家電のエコポイント制度の縮小に伴い、今後は反動減が出てくる。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少している。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円高によって、輸出が難しくなる。それに伴い、売上は減少していく。

		輸送業（従業員）	・ 内需が停滞しているため、物流も低迷している。物流業界では、業者間の競争が激化しており、運賃は下落傾向にある。大手は新しいサービスを低料金で提供するが、中小の業者では運賃を下げて荷主を確保するのがやっとの状態である。また、燃料価格が依然として高止まっており、業界ではどこも厳しい経営を強いられている。
		不動産業（経営者）	・ 年末にかけて資金需要が増えるが、客との成約は難しいため、経営は悪化しそうである。
		経営コンサルタント	・ ファミリー層は所得が不安定なため、住宅を購入する動きがない。住宅を買うとすればリタイア層しかいないため、都心のマンションしか売れず、需要に広がりが出てこない。住宅販売が減ると雇用も増えず、消費も上向いてこない。地元の居酒屋や商店街の売上も減少しており、地方経済は悪い方向に向かっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・ 今年度の研究開発需要は緩やかながらも増加傾向が続くため、技術者派遣需要も増加傾向が続く。
		人材派遣会社（社員）	・ 正社員採用が徐々に増加してきており、今後はやや良くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・ 大手自動車メーカーなどでは、直接雇用への切替が400名規模で発生する。人材派遣業ではその分の売上は減少するが、この先3か月間は回復基調が継続する。
		職業安定所（所長）	・ 求人増加傾向は、今後も続くと見込まれる。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・ 来年3月までは、現在の悪い状態が続きそうである。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ 新聞求人広告の動きを見ると、円高が当地域の主力産業である製造業に影響を与えており、底ばい状態は今後数か月間は続きそうである。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人数の増加傾向は、今後も変わらない。ただし、家電エコポイント制度の縮小による製造業への影響が懸念される。
		職業安定所（職員）	・ 現状では、新規求人数の上昇率よりも、新規求職者数の上昇率のほうが高い。そのため、先行きは横ばいであると見込まれる。
		職業安定所（職員）	・ 周辺企業の話では、景気は上向いていない。求人数が増えても求職者数も増えていくため、今後も変わらない。
		職業安定所（職員）	・ 求人数は、6か月連続で前年同月を上回っている。しかし、派遣社員や臨時社員は増加しているが、正社員求人の割合は伸びていないため、厳しい状況にある。この傾向は今後も続く。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・ 将来に向けた求人数が、徐々に増えてきている。
	学校〔大学〕（就職担当）	・ 追加求人については底を打っているが、大手企業を始めとする年間採用計画については、まだ本格的な上向き傾向は感じられない。	
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	